



学校だより

令和2年1月31日
練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章
第683号

チーム北西で全ての児童の成長にかかわる

校長 吉川文章

「全学年の学級編成替え（クラス替え）を追い風により豊かな人間性を育む」

今年度から、「全学年の学級編成替え」を始めました。区内でも本校と同じ考えの下、導入する学校が増えてきています。約2年前に発信した以下の内容について今一度共通理解願いたく記事にさせていただきました。

「少子高齢化」「情報の加速度的な発達」「他者との関係の希薄化」「格差社会の広がり」等、社会状況の変化が、子どもに与える影響は著しいものがあります。本校も例外ではありません。「今の子どもたちが就労する頃には、65%は、まだこの世に存在しない仕事であり、45%の仕事は姿を消している」という予測はメディアを賑わせています。観光産業の発展や外国人労働力の拡充にともない世界中の多くの人々との関わりも急激に増えます。子どもたちは、世界中の人々と関わり仕事をすることも一般的となるでしょう。そのような、かつて経験したことのない社会を生き抜くために求められる一番必要な力はなんでしょうか。私は、「コミュニケーションの力」であると考えています。そして、現代社会で、子どもたちが、それを学ぶ一番の機会は学校において他にないと考えています。

「毎年のクラス替え」により、「子どもたちには、多くの関わり合いをしてほしい」と考えています。小学校生活の6年間において、6回のクラス替えをすることによって、学年ほぼ全ての子どもたちと関わることとなります。多くの個性との出会いです。豊かな心が醸成されるでしょう。衝突もあるかもしれません。つまり、失敗をしながら学ぶのが小学校です。むしろ、大きく変化する将来の社会の中で「生き抜く力」が育つ「絶好の機会」と前向きにとらえます。

北西小には、「学級王国」という発想はありません。先生方には、北西小に通う全ての子どもたちを自分のクラスの子どもたちのように、家族のように思っていたきたいと考えています。「全ての児童の心根に寄り添った支援」は、本校の教師に求める理想像であり。特別支援教育の原点です。学年の結束力は学校の結束力に結び付くと確信をします。

昨年度の周年行事により、多くの保護者や地域の方々が、子どもたちの笑顔や成長を「我が事のように」「我が子のように」願い支えてくださっています。北西の保護者や地域の皆さま、我々教職員全員がそう思い、「チーム北西」で全ての児童の成長に関わる理想の学校の実現に向けた重要なアクションであるにご理解ご支援ください。

道徳授業地区公開講座

道徳主任

1月11日に道徳地区公開講座がありました。3時間目に行われた、北町小学校校長 田村亜紀子先生による講演会には40名程の保護者が参加してくださいました。

田村先生からは、「道徳教育が目指しているものは『人格の完成』です。学校の授業で『希望・勇気・努力』の気持ちを育てる場合でも子どもの成長に合わせて学年によって目指すものは変わってくるのでじわじわと道徳性を育てていきましょう。子どもの道徳性は、学校と家庭でそれぞれ協力し合って養っていきましょう。」というお話をいただきました。

クラブ発表週間

特別活動主任

1月10日にクラブ発表集会で、9クラブのクラブ長が全校児童に向けて、クラブの活動内容について説明をしました。

来年度クラブ活動に参加する3、4、5年生に向けて、実技を交えたり、6年生が身振り手振りを付けたりしてクラブの説明をしました。3年生、4年生は来年度に向けて意欲を高め、私はくわくしながらどのクラブに入ろうかと考え、5年生は、自分たちが来年度クラブを引っ張っていく存在としてどのように立ち振る舞えば良いのかを考える機会となりました。

新しいクラブについてのアンケートも行いました。今の意欲を保ち、次年度へつなげていってほしいと思います。今までクラブ活動を盛り上げようとたくさんの方の企画をしてきてくれた6年生には、ここで学んだことを生かして、中学校でも活躍してほしいと思います。

学習指導要領改訂Ⅱ

教務主幹

前回お話しした「モチベーションの維持」は、目的をどう設定したかによって変わります。小中高校生の受験後に見られることがある「燃え尽き症候群」ですが、「合格する」ことが目的となっていた場合に、合格後のゴールがわからなくなり気力が尽きてしまうため起きることがあります。定年退職者のひきこもりが問題視されていますが、年齢層が異なるだけで、ゴールを見失った状態にあるという点では燃え尽き症候群と共通しています。中長期的な視点を持ち、最終的なゴールは「自分で自分を伸ばし短期目標を達成し続ける」というポイントに設定して生きていくことができる人を育てること、これが新学習指導要領の三つの柱の一つである「学びに向かう力 人間性等」という項目で伸長を狙っている内容です。この柱を具体的に支えるために、「これを学べば何ができるようになるかを理解する(知識・技能)」と、「わかったことをどんなふうにかつ使うことができるか(思考力・判断力・表現力)」という二つの柱が存在します。(まだつづく…)

※ 今月の特別支援教育コーナーはお休みいたします

社会科見学

3年生 ～練馬区内めぐり～

学級担任

3年生は、2月4日に石神井公園ふるさと文化館とJAあおば石神井支店に行きます。ふるさと文化館では、100年以上前に建てられた民家を見学し、古い道具や昔の暮らしの様子を学習してきます。実際に見たり触ったり遊んだりできるものがたくさんあるので、子供たちも楽しんで昔の暮らしにタイムスリップできると思います。JAあおばでは、練馬区の農業や農産品についてお話を聞きます。3年生は農家の方と大根を育て、たくあん漬けを作ったので興味深いと思います。この社会科見学をもとに、練馬区の学習のまとめをしていきたいと思っています。

4年生 ～浅草・お台場見学～

学級担任

4年生は、12月16日に浅草とお台場に行きました。浅草ではグループごとに観光ボランティアガイドさんから浅草の歴史や伝統文化財などについて詳しく説明をしてもらいました。ちょうど羽子板市の前日だったので、屋台の準備で大賑わいをしていて、日本の伝統文化を肌で感じることができました。お台場では建設中のオリンピック競技場や選手村をバスや水上バスの上から見学しました。事前のオリンピック新聞作りで調べたことを実際に見ることができたので、オリンピックを身近に感じる1日になりました。浅草とお台場、歴史の町とオリンピックに向けて開発中の町、2つの町からたくさんのことを学んだ社会科見学となりました。

5年生 ～ コカ・コーラ多摩工場・ロッテ狭山工場 ～

学級担任

工業生産（製品）と聞いても、ぱっと浮かんでこないと思います。私たちの身の回りにはたくさんの工業製品があります。社会科見学では、教科書だけの知識だけでなく、「実際に視ること」を通して、働く人の作業の様子、生産工程、生産に込められた工夫や努力、などを学ぶことができます。以上の視点を押さえて、そこから今後の自分の生活にも生かせる学びをして参りたいと思います。

6年生 ～国会議事堂見学(2月3日)～

学級担任

日本の政治の中心である国会議事堂に、実際に入って歩いて感じることもできるとても貴重な機会です。参議院の特別体験プログラムは本物さながらのとてもリアリティのある模擬国会を体験することができ、賛成か反対かの意志表明をすることで、目の前で法案が処理される様子を見ることができます。小学校の社会科見学としては、見学の難易度が最も高いものになります。同時に、公民分野の学びが「何に役立ち、今後どのように生きるか」を見据えながらまとめの資料を作成しようと思います。「百聞は一見に如かず」というとおり、一見からの深い学びをして参ります。

2月の行事予定

3日	月	たてわり交流（交流給食準備） 社会科見学（6年）弁当持参
4日	火	社会科見学（3年）
5日	水	学習補充教室なし 委員会活動（4年代表委員を含む）
7日	金	おまんじゅう作り（2年） クラブ活動
8日	土	学校公開 短縄体育朝会（3時間）二分の一成人式（4年） 体力向上旬間終 薬物乱用防止教室（6年） 新1年生入学説明会
10日	月	たてわり遊び
11日	火	建国記念の日
12日	水	午前授業（教育会研究発表会のため）
14日	金	午前授業（大泉北小研究発表会のため）
17日	月	クラブ発表週間始
19日	水	学習補充教室
20日	木	短縮時程（1年5時間、2年以上6時間）
23日	日	天皇誕生日
24日	月	振替休日
25日	火	命の授業（6年）
26日	水	5時間授業 保護者会（4，5，6年）
27日	木	社会科見学（5年）
28日	金	音楽朝会（1～5年）6年生を送る会 たてわり交流給食 クラブ活動

※今月の避難訓練は、予告なしで行います。

〈スクールカウンセラー 来校予定〉

2月 6日（木） 13日（木） 20日（木） 27日（木）

※詳細は副校長にお問い合わせください。TEL 3932-7234